

JEITA 国際戦略・標準化セミナー

～ スマートなヒューマンライフと標準化活動 ～

東日本大震災後に省エネを目的に家庭への導入が始まったHEMS (Home Energy Management System)、制御デバイスとしてのスマートフォンやクラウドサービスの普及によりスマートホームへの期待が高まってきました。スマートなヒューマンライフの実現に向けて、宅内の家電機器と宅外の情報基盤とをつなぎ、省エネだけでなくヘルスケアなど多様なサービスの展開が今後期待されます。これらのサービス普及には各社の家電機器やサービスが相互に連携できるよう標準化が鍵を握っています。

一方、「標準化官民戦略」が策定され国際標準化活動の強化に向けて、今後具体的な施策が展開されていきます。日本の最新の標準化政策やスマートなヒューマンライフを実現する最新の技術動向・標準化戦略について当該分野の第一人者の方々にご講演頂きます。

日 時 : 平成26年10月8日(水) 10:00～12:30

場 所 : 幕張メッセ国際会議 302会議室
千葉市美浜区中瀬2-1 地図 <http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>

主 催 : 一般社団法人 電子情報技術産業協会 標準化政策委員会/国際標準化戦略研究会

定 員 : 150名(定員になり次第締め切ります)

参加費 : 無料(ただし、事前申し込み制となります)

申込方法 : 「CEATEC JAPAN 2014」のサイトからお申し込み下さい。
<http://www.ceatec.com/ja/conference/confDateList.html?date=2014-10>

事務局 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
一般社団法人 電子情報技術産業協会 知的基盤部 TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078

Program

司会 小川 雅晴 標準化運営委員会 委員長 (三菱電機㈱ 開発本部開発業務部 主管技師長)

10:00～10:30 国が推進する産業振興・発展のための国際標準化政策について

辻本 崇紀 氏
経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課
統括基準認証推進官

新市場創造や企業の競争力強化に資する「標準化」に関して、官民が連携して取り組むべき具体策を標準化戦略として策定するため「標準化官民戦略」を策定しました。国際標準化を我が国が主導していくためには、人材の育成、国際的な連携や認証との一体的推進について、官民が協力して中長期的に取り組んで行く必要があります。国の政策について紹介します。

10:30～11:05 スマートホームの通信技術の現状

丹 康雄 氏
国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学
情報科学研究科 教授

スマートホームにおける各種通信規格やその他関連動向について紹介します。将来、宅内機器と宅外の情報基盤とをつないで各種の新サービスが提供されることによって、人々のライフスタイルは、大きく変革していくことが期待されます。その将来展望と現状、普及に向けての課題について考察します。

11:05～11:40 スマートコミュニティに基づいた社会システムの実現と標準化

谷川 民生 氏
独立行政法人 産業技術総合研究所
統合知能研究 グループ長

東日本大震災後、エネルギー管理の重要性が高まり、一般家庭へのHEMSの普及促進が求められています。普及の鍵を握る「標準化」の現状と課題について、産業技術総合研究所におけるいくつかのプロジェクトを通じて紹介するとともに、今後の取り組みについて考察します。

11:40～12:15 医療・ヘルスケア事業のグローバル化と国際標準化

倉部 勇一 氏
日本光電工業株式会社 技術戦略本部 基本技術部
標準化推進担当 課長

医療・ヘルスケア領域での成長戦略が策定され、国内産業育成と輸出に向けた政策が行われています。IEC TC62(医用電気機器)では、2011年に「メディカル」から「ヘルスケア」を含むようスコープを拡大し、ソフトウェアやネットワークに要求される安全・セキュリティ、さらには、生活環境支援(AAL: Active Assisted Living)分野等への関心が高まっています。日本企業がヘルスケア分野でグローバルに事業展開する際のビジネスと標準化戦略について考察します。